

プレートタイプ試験体の加熱冷却試験

お客様のプレートタイプ試験体に対し、温度分布、熱効率等を測定する加熱冷却試験を行います。

加熱冷却試験の概要

● 熱交換プレート試験

発熱体に対する冷却プレートの冷却能力を測定する試験です。発熱体に発熱ヒータまたは工場蒸気を用いた発熱プレートを用いて、プレート上の各所の温度分布等を測定します。

● 熱電発電プレート試験

発熱プレート、冷却プレートの間に熱電発電プレートを挟み込み、プレート上の各所の温度分布等を測定し、発電効率等を測定します。

試験例

● 冷却プレート試験例(図1)

- ・媒体: 水、空気等
- ・温度測定: プレート上の温度分布
- ・圧力測定: プレートの圧力損失
- ・熱量測定: 熱収支

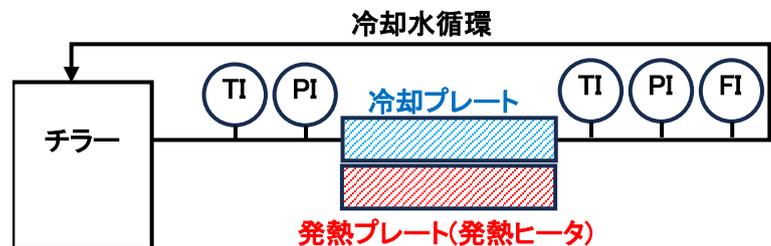


図1 冷却プレート試験装置の概略フロー図(ヒータ利用例)

● 熱電発電プレート試験例(図2)

- ・媒体: 水、蒸気等
- ・温度測定: プレート上の温度分布
- ・圧力測定: プレートの圧力損失
- ・熱量測定: 熱収支、発電効率

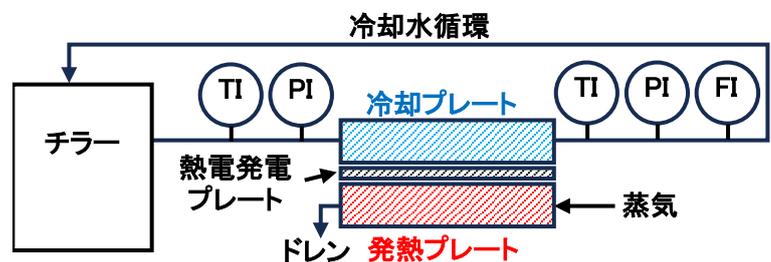


図2 熱電発電プレート試験装置の概略フロー図(蒸気利用例)

試験装置製作

● 発熱プレート製作

お客さまの試験体に合わせてヒータタイプ、蒸気タイプ等の発熱プレートを製作します。

● 接触面の温度分布測定

各プレートの接触面の温度分布測定のため、熱電対設置用の穴あけ加工を行います。

● 試験装置製作

お客様のご要望に合わせて、上記製作・加工した部品を組み込んだ試験装置を製作します。またその装置を用いた試験を実施し、結果をご報告いたします。

- ※ 試験装置の製作・販売も行っております。
- ※ プレートタイプ以外の形状もご相談ください。

